

## 応急担架作成・負傷者搬送法(布担架、着衣)

人数	時間	場所	用意するもの
2人～	20分～	屋内外どこでも	毛布、棒 消防署で貸出可 着衣

① 1/3のところのやや右に物干し竿や丈夫な棒を置く

② 折り返す

③ 折り返された端より内側にもう1本置く

④ 折り返す

※十分余裕をとる

**●毛布の利用1**

毛布の端を両側から丸めて持ちやすくする

はしを丸めて持ちやすくする

**作り方のポイント**

毛布の両端を二人ずつで持ち、同時に丸めて持ち手を作り、搬送しやすくする。

**作成上の注意事項**

棒、毛布、上着等の強度を確認した上で実施すること。  
市販の物干しざおは、強度不足の場合が多いので安易に使用しない。

**●着衣の利用**

裏返しにして袖を通し隙間なく並べる

※ボタンのあるものは必ずかける。

**作り方のポイント**

両手で棒の先端を握り、腰を深く曲げ上着の裾を持って、裏返しになるように棒の方向に脱がせる。  
一人ずつ同じ動作を繰り返す。

**●搬送要領**  
(4人で運ぶ場合)

**応急担架の搬送に際しての注意事項**

- 搬送に際してはできるだけ4人以上の人員を確保し、搬送要員が腰を痛めないよう十分注意する。
- 搬送は傷病者の足方向を前にして行い、頭側(後方)の搬送要員は傷病者の容態を観察する。
- 応急担架での搬送はできるだけ短距離とし、解けや緩みがないか、こまめに応急担架の安全確認を行うこと。